



# る う て る

2011年  
**3**月  
No.759

■発行所■  
日本福音ルーテル教会事務局広報室  
〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町1-1  
電話 03-3260-8631

■振替口座 ■ 00190-7-71734  
■ウェブサイト ■ <http://www.jelc.or.jp>  
■E-mail ■ [jelc@jelc.or.jp](mailto:jelc@jelc.or.jp)  
■発行人 ■ 徳野昌博 m-tokuno@jelc.or.jp  
■印刷人 ■ 積文堂印刷株式会社  
■定価 ■ 1部 40円 (郵税別金を含む)

説教

## 暗闇の世にこそ光が！

「この世には、それを照らす太陽も月も、必要でない。神の栄光が都を照らしており、小羊が都の明かりだからである。」ヨハネの黙示録21章23節

1968年4月に、日本福音ルーテル教会牧師の道を歩み始め43年、満70歳の定年を迎えようとしていました。西教区防府教会から始まり、徳山・柳井・益田・三原・東海教区の名古屋・知多・挙母・希望・復活・小鹿・清水と12教会で仕える光栄に浴してきました。この間、福山・岡崎・栄光

教会を兼任した時期も与えられました。43年の伝道・牧会の始まりと終わりに、忘れられない葬儀をいたしました。防府教会に副牧師として赴任したとき、既に入院中の若い兄弟がおられました。長崎の病院で前立腺がんを手術後、防府に帰り治療されておりました。益田出身の



奥様と、まだ2歳の幼児がおられました。こんなに若くして、しかも幼な子を残して、神様は召される、なんと悲しい現実だろうかと、慰めることはもさし上げられませんでした。牧師になつて初めての葬儀でした。当時は新卒牧師は5月末の赴任で、2ヶ月足らずの病院での交わりでした。この兄弟は、癌に倒れ妻子を残して召される悲しみの中で、明確な信仰の証しをされ、新任牧師の私に大きな教えを与えてくださいました。

小鹿教会での任を終えようとしている、この一月に85歳の姉妹が召されました。人生最晩年の3年余を、病院生活に明け暮れましたので、お見舞いでの交わりの方が多かったように思います。物書きが大好きで、外出される時には、ペンとノートをお持ちになり、よくメモされていたそうです。14年前の97年に書き溜めたエッセーをまとめて「風の路」という随筆集を自費出版されました。病床のテーブルに置かれていまし

たので、お見舞いのたびに読ませていただき、その日の体調次第では、耳元で一篇を大きな声で読んであげました。四季折々の42篇の随筆を編集してあります。すべての稿が聖句または、讚美歌の言葉で結ばれています。

その一篇の「遺言」の中に、臨終に際して「マイ愛難曲」「ハレルヤコーラス」に囲まれて人生の終焉を迎えられるなら幸いという言葉があります。ご長男のご希望でもありました。オルガニストの姉妹が、前夜式の前奏曲としてバッハの「マイ愛難曲」からの一曲を選んでおいてくださったのは何という導きであつたらうかと感謝いたしました。葬儀後の「出棺」に際して、ヘンデルの「メサイア」から「ハレルヤコーラス」をCDで流しつつ教会から天国への道を送りだしました。牧師生活の葬儀で初めてのことでした。葬儀には悲しみが常なのですが、この姉妹の場合には、死を滅ぼし、復活され勝利し給うた救い主イエス様への深い



信仰がにじみ出て、実に明るいお別れになり感謝と希望の思いで一杯になりました。

現役牧師最後の小鹿・清水2教会での「聖書に聴き祈る会」のテキストは「ヨハネ黙示録」とさせていただき、2年がかりで読み終えようとしています。21章9節から22章5節に「新しいエルサレム」が描かれています。私たちの歴史の最後に神さまが実現される完全な救いが証しされています。

昼を照らす太陽の光も、暗い夜を照らす月の光も必要ない時が来ます。神ご自身と救い主イエス様が光であり給うのですから、造られた物の光は不要なのです。

人生は罪と恥に満たされていますが、それをご存知であり、共に担ってくださいる救い主イエス様がいてくださいます。どんな深い絶望の淵に立たされようとも、希望を打ち砕く大きな試練のさなかにあるうとも、主と共にいてくださるので安心できます。

「神は私たちの目の涙をことごとくぬぐいとりくださる」(黙示録21章4節)のです。感謝と喜びをもって信仰の歩みを続けましょう！

### 各教区総会のお知らせ

日時：3月21日(月)

- 北海道特別教区 札幌教会札幌礼拝堂
- 東教区 東京教会
- 東海教区 浜松教会

なお本年は、西教区、九州教区は総会がありません。

### 泣きなき、笑いなき

「ものづくりのヒント」という本を読みました。私の人生テーマは発想の転換です。そこでこの種類の本には敏感になってしまっています。

今回の発想の転換は「難しい」の反対語は何かということですが「簡単」という言葉が頭にうかびました。しかし本当にそうかということ。私たちの身の回りには、たくさん機械があります。携帯電話ひとつにしても操作が難しいのです。最近操作が簡単になりました」という宣伝をみました。ところが、操作が簡単になったのではなく、使い道の選択肢が少なくなっただけでした。「難しい」が「簡単」になったのはいいですがサービスが落ちるというのはいやっぱ疑問に感じます。

それじゃ「難しい」の反対は何でしょうか。きつと「難しくない」です。携帯電話もやたらと軽くなりますが、「重い」の反対は「軽い」ではなく、「重くない」「つまり」ちょうどよいのです。ですから「小さい」の反対は「大きい」ではなく「小さくない」と考えてみたらどうでしょうか。信仰も同じだと思います。「信じている」の反対は「信じていない」ではなく「まだ信じていない」といってはいけません。「信じていない」からではなく「まだ信じていない」からアプローチをするのが宣教方策の課題だと思います。

泣きなき、笑いなき、どちらもイエス様との出会いで起る同じことのように思います。風の道員箱は今回で終了します。風度はいつ風は吹いてくるのでしょうか。

### 聖書におけるスピリチュアリティ！

スプリチュアルケア  
大柴謙治 著  
賀来周一 著  
キリスト新聞社刊

### 引退牧師の声

## 「にも拘らず」

札幌教会 重富 克彦

1969年11月に、別府教会で按手を受けて41年と半年、日本福音ルーテル教会の牧師を務め、この3月現役を引退することになりました。定年許容ぎりぎりには一年早く定年退職です。生涯一度も、ぎりぎり一杯まで無理したことのないこの身、この度も若干の余力を残して引退させていたできます。

11月に按手というのは奇妙ですが、1969年の神学校卒業生の中で9人だけは、教師試験を求

一つの結論に至るためには、相当激しい議論のプロセスがあったのではな

私には定年でこの3月で引退です。復職後の6年間はあつたという間でした。プ

加えた末に、その道のりを

三月の声を聞くと、園舎のまわりは雪が残っています

顔を思い出すと、神さまに守られて仲間と共に心も体も成長したことを感じ、一人ひとりの顔が自信につながり、輝いて見えます。

3月16日には、第75回卒園式を迎えます。

卒園児も四千六百人ほどになりました。その中には、親・子・孫や親子で卒園した家庭もあります。また全国から音信を聞くことができるのは喜びであり、感謝です。

幼い日に出会った神さまは、どんな時にも共にいてくださり、支えてくださることを信じて歩んでいくことを心より祈っています。

めばえ幼稚園 園長 梅原裕子

芽をだして

こんなに おおきく

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

## 「別の道」への旅支度

稗台教会 栗原 茂

「ところが『ヘロデのところへ帰るな』と夢で告げがあったので、別の道を通って自分たちの国へ帰って行った。」

学者たちは「夢」を見て当初の予定を変更しました。当時の人々は、神のお告げは「夢」を通して示されると考えていたからです。しかし学者達はそろって皆同じ夢をみたのでしょうか。これはや

最後は全国の信徒の皆様への問いかけを残したいと思えます。教会は新しい「別の道」を選択するにあ

一年間の幼稚園生活の最後の月になりました。一人ひとりが精いっぱい遊び、十分満足することができるよう、一日一日を大切に過ごしていま

めばえ幼稚園では、卒園式で「おおい木」(まどみちお作詞)を歌い続けています。

三月の声を聞くと、園舎のまわりは雪が残っています

顔を思い出すと、神さまに守られて仲間と共に心も体も成長したことを感じ、一人ひとりの顔が自信につながり、輝いて見えます。

3月16日には、第75回卒園式を迎えます。

卒園児も四千六百人ほどになりました。その中には、親・子・孫や親子で卒園した家庭もあります。また全国から音信を聞くことができるのは喜びであり、感謝です。

幼い日に出会った神さまは、どんな時にも共にいてくださり、支えてくださることを信じて歩んでいくことを心より祈っています。

めばえ幼稚園 園長 梅原裕子

芽をだして

こんなに おおきく

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木

おおい木









日本福音ルーテル教会  
**2011年度人事**  
(※敬称略)  
 提案者 人事委員会

- 定年引退  
 (2011年3月31日付)  
 ・明比輝代彦  
 ・栗原 茂  
 ・重富克彦
- 新任  
 (2011年4月1日付)  
 (一般任用)  
 ・浅野直樹(新任)  
 清水・小鹿教会(東海教区)  
 指導牧師：藤井邦夫  
 ・市原悠史(新任)
- 人事異動  
 (2011年4月1日付)  
 【北海道特別教区】  
 ・日笠山吉之  
 札幌教会主任  
 ・岡田 薫  
 恵み野教会主任(兼務)  
 【東教区】  
 ・内藤新吾  
 松台教会主任  
 【東海教区】  
 ・三浦知夫  
 浜名教会主任(兼務)  
 ・田中博一  
 掛川・菊川教会主任(兼務)  
 ・藤井邦夫  
 富士教会主任(兼務)  
 【西教区】  
 ・沼崎 勇  
 釜ヶ崎活動(兼務)・責任者  
 ・永吉秀人
- 聖パウロ教会主任(兼務)  
 ・山田浩己  
 広島教会主任  
 ・松山教会主任(兼務)  
 ・佐々木赫子  
 宇部教会・下関教会・厚狭教会  
 ・光延 博  
 シオン教会  
 【九州教区】  
 ・木下 理  
 宮崎教会主任  
 ・西川晶子  
 室園教会主任  
 ・後藤直紀  
 合志教会主任(荒尾教会兼務)  
 嘱託から一般任用へ変更  
 ・濱田道明  
 日田・甘木教会主任(兼務)  
 【在任21年延長教職転任制度運営要綱第6条(2)】  
 ・松木 傑
- その他  
 ●アメリカ留学(2011年9月1日より2年)  
 ・後藤由起  
 本教会付  
 ●宣教師  
 (2010年9月1日付)  
 ・ヨシムラ・ヒロアキ & パイピ  
 東教区・神奈川東共同体
- J3プログラム  
 ・Street, Ms. Allyson(3)  
 スワリード・アリン  
 九州ルーテル学院  
 ・Bedford, Ms. Allyson(3)  
 ベフォード・アリン  
 九州ルーテル学院  
 ・Edge, Ms. Christine(3)
- 嘱託任用  
 (2011年4月1日付)  
 ・警見達也  
 板橋教会  
 主任：立山忠浩(兼)  
 一般から嘱託任用へ変更  
 ・秋山 仁  
 小倉教会・直方教会  
 主任：岩切雄太(兼)  
 一般から嘱託任用へ変更
- 牧会委嘱  
 (2011年4月1日付)  
 ・重富克彦  
 恵み野教会(新)  
 ・藤井 浩  
 沼津教会(更新)  
 ・明比輝代彦  
 富士教会(新)  
 ・横田弘行  
 掛川・菊川教会(新)
- 休職  
 ・波田真帆  
 2010年9月～  
 ・宮澤真理子  
 2011年4月～
- 戸田 裕  
 復活教会(更新)  
 ・重野信之  
 刈谷教会(更新)  
 ・Aエリス  
 甲佐教会(更新)
- 牧会委嘱終了  
 ・中村圭助  
 甲府教会・諏訪教会  
 ・山本 裕  
 浜名教会  
 ・森 勉  
 広島教会  
 ・松隈賢雄  
 宇部教会  
 ・早川頭一  
 聖ヘテロ教会

石原寛先生を偲んで  
 ルーテル学院大学学長  
 市川一宏

石原寛先生は、1990年に理事長にご就任になられ、以来、今日にいたるまで、ルーテル学院をお支え下さいました。この20年は、ルーテル学院にとって大きな変革の時でした。プラウンホール、トリニティホールの建設、食堂、図書館の増築、神学生寮や学生厚生施設等のあるルターホールの増改築等のハード面、教育体制や教育プログラム・学生支援プログラムの充実等、いくつもの課題を乗り越えてきました。ルーテルのキリスト教教育を基盤に、困難に直面している人々の存在を支え、キリストの愛を届け、さらに生活を支援し、心の痛みを癒す人材を育てるといふ夢を実現しようと、理事・評議員、教職員、後援会、教会の方々から、努力しました。しかし、困難に直面し、私たちが揺らいだ時に、理事長である先生からお励ましいただき、担当者と共に文部科学省と交渉し、夢を実現して下さいました。先生は大きな柱であり、私たちと共に歩んで下さった方でした。その先生が、2010年10月26日に天に召されましたことは、私たちに、ルーテル学院に関わる者にとっても、大きな悲しみであります。なぜなら、私たちは先生から、いつも3つのものをいただいていたからです。第1は、元氣です。私たちは、未来を描き、様々な改革を目指してきましたが、人材や資金の確保、文科省への手続きの行き詰まり、法律問題等に直面しましたが、先生は先頭に立って皆を励ました。第2はやる気です。目に見えない、足下ばかり見

てしまう私たちは、時として蛇行します。その時、先生は将来にむかって目を上げて進むことを教えて下さいました。先生はピカソが言った、「もっとも傑作は、ネットワーク」という姿勢を買われました。だから、私たちはおれませんでした。第3は勇氣です。先生は熱心なクリスチャンで、神の愛と希望を私たちに運んで下さいました。神の導きを覚え、私たちが、いかなる困難に直面しようとも揺るがぬ勇氣を与えられました。共に学院を支えてくださる京子姉、先生を送り出して下さいました。日本福音ルーテル市ヶ谷教会の方々に、心より感謝いたします。そして、2011年1月11日、新理事長として、前神戸女学院院長・理事長であられた松澤員子先生が選出されましたこと、感謝をもつてご報告させていただきます。

ルーテル社会福祉協会  
 高齡福祉部 キリスト教理念管理職研修のお知らせ  
 1月20日、袋井市のデนมール牧場福祉会において、今後のキリスト教社会福祉施設の管理職への理念継承の問題について関係者で話し合い、以下の通り研修会を開催する運びとなりました。  
 日時：2011年6月19日(日)～6月21日(火)  
 場所：静岡県浜松市近郊の研修センター  
 事務：白川氏(0538.330380)  
 法人の参加人数：3～4名までの限定(次世代の管理者・幹部候補生)＋スタッフ管理者1名  
 プログラム  
 ・参加者による各法人の歴史と理念の発表  
 ・「管理者としてのキリスト教理念に対する率直な思いの分かち合い(小グループ)」  
 ・各グループの分かち合い  
 ・理念の背景としての教会の情熱(白川氏)  
 ・ケーススタディー(長谷川保の場合(山本誠教授) 聖隷クリストファー大学) & スタッフ管理者の理念にかける情熱と証(高橋氏、石倉氏)  
 ・学びを終えて管理者として理念をどう表現していくかについて各自発表

前号の掲載記事に「ア諸行事その他」の項目として「マイノリティの者への歌」という表記をいたしました。説明を補足しますと、「少数の立場の方であっても具体的に讃美歌に取り上げられてこなかった方々を視野に入れて一緒に賛美する歌つまり、共に賛美する歌であるいはその方々を覚えて祈りや願いとともに賛美する歌」となります。決して差別的に表記したものではありません。言葉が足りなかったことをお詫びします。教会の勤めを思う時に、讃美歌を用いて福音を全ての人に届けることも一つの方法と考えて、いままで言葉にして讃美歌に含まなかった方々を具体的に覚えたという趣旨です。そのような視点から、歌をお寄せいただければと願うものであります。

電話書き変更のお知らせ  
 野口幹夫先生  
 電話：043・376・6910